

令和 4 年度  
香住第一中学校の教育

1 校 訓

自 立	協 同	責 任
○自ら判断し、正しく行動する力を育成する。	○自他を尊重し、互いに協力する態度を育成する。	○集団の一員として自分の役割を果たす態度を育成する。

2 学校教育目標

**ふるさとを愛し 心豊かで  
自らやりぬく生徒の育成**

3 目指すこどもの姿

知・徳・体の調和のとれた生徒		
自ら学ぶ生徒 (Study)	思いやりのある生徒 (Support)	たくましい生徒 (Sports)
○基礎学力が定着し、自ら学ぶ意欲に満ちた生徒	○自他を大切に、元気で明るくさわやかな生徒	○基本的な生活習慣を確立し、健康な体と忍耐力を持った生徒

4 目指す学校の姿

**明るく、活力ある、魅力ある学校**  
～ 生徒が笑顔で登下校する学校 ～

5 目指す教師の姿

**慈愛のまなざしを持ち、個を大切にする教師  
専門性と人間性を鍛え、常に研鑽する教師  
地域を知り、そこに住む人の想いをくみ取れる教師**

6 指導の基本方針

- ① 基本的な生活習慣の徹底 『時を守り(時間)、場を清め(清掃)、礼を正す(挨拶)』
- ② 生徒の実態を正確に共通理解し、協働して展開する効果的な生徒指導
- ③ PDCAサイクルを継続的に実践し、指導と評価の一体化を図った丁寧な学習指導
- ④ 学校運営の説明責任を果たし、家庭・地域と連携した開かれた教育活動の推進
- ⑤ 香美町「教育の重点」に基づき、中長期的な視野に立った魅力ある教育活動の展開

7 本年度の重点目標 ～ 進化(深化)と継続2 ～

<p>学びの一中 (知)</p>	<p>○基礎学力の定着と効果的な家庭学習の意識付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れの提示と振り返りの時間確保によって、定着に視点を当てた授業展開に取り組む。</li> <li>・個に応じた指導を進め、話し合いや説明等、言語活動を取り入れた深い学びを推進する。</li> <li>・家庭学習の手引きを活用して、1時間は自分で計画した家庭学習に取り組む。</li> <li>・<b>自学自習の仕方とタブレット活用能力を育成する。</b></li> </ul> <p>○校内研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫化教育を推進し校区小中学校教員の共通理解と資質向上を図る。</li> <li>・<b>読書活動推進事業では、タブレット活用と地域や関係機関との協働について重点的に取り組む。</b></li> <li>・<b>気象災害モデル校事業を推進し、生徒の防災(気象災害)に関する知識を養い、意識を啓発する。</b></li> </ul> <p>○グローバル化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英検IBAやESCamp を効果的に活用して、英語の学習意欲向上につなげる。</li> <li>・卒業時半数以上の生徒に、英検3級以上の実力をつけさせる。</li> </ul>
<p>さわやか一中 (徳)</p>	<p>○生活の三本柱「時を守り、場を清め、礼を正す」を中心とした学校の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高あいさつ運動の取組を核として、あいさつ運動を積極的に推進する。</li> <li>・無遅刻記録の継続と、時間を守らせるための手立てを一層工夫する。</li> <li>・<b>縦割り無言清掃を核として、クリーン作戦等校区の環境美化とボランティア精神を育成する。</b></li> </ul> <p>○人権尊重を基盤とした共に生きる態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級を核としたインクルーシブ教育システムの構築を、保護者と協働して進める。</li> <li>・「いじめゼロ」を目指し、学校と家庭が連携して未然防止、早期発見・早期対応に組織的に取り組む。</li> <li>・道徳科の授業を核として、全領域で取り組む幅広い人権教育を推進する。</li> </ul> <p>○不登校の未然防止と支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>「居場所づくり」と「絆づくり」をキーワードとした温かい学級集団づくりを推進する。</b></li> <li>・気づきの感度を上げ、家庭や SC、SSW、関係諸機関との連携を密にした支援体制を構築する。</li> </ul>
<p>躍動する一中 (体)</p>	<p>○部活動・生徒会活動の活性化による心身共にたくましい生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ノー部活デー」「いきいき運動部活動」に取り組み、心身を鍛える無理のない部活動を推進する。</li> <li>・<b>開始から終了まで90分間の活動を工夫し、目的と目標の達成に自ら取り組むチーム作りをする。</b></li> </ul> <p>○一貫化教育における9年間を見据えた体育保健指導の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力運動能力調査結果を基に体力向上計画を立て、9年間の体系的な体育授業を構築する。</li> <li>・児童生徒の健康課題等の情報交換に努め、一貫化教育を踏まえた保健指導の充実を図る。</li> </ul> <p>○校歌の歌唱で育む愛校心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で取り組める歌唱について工夫し、校歌が心のよりどころとなるような歌唱指導を行うことで、愛校心と全校生徒の一体感を醸成する。</li> </ul>
<p>開かれた一中 (連携)</p>	<p>○地域とふれあい、ふるさとを誇りに思う生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人的、物的資源を活用した体験活動と出前授業の充実を図る。</li> <li>・<b>「香住海岸クリーン作戦」「駅・地域清掃」の継続実施で、ふるさとに貢献するボランティア精神を育む。</b></li> <li>・関係機関と連携した「香住の産業」についての出前授業で、生徒のキャリアを積み上げる。</li> <li>・<b>三番叟、麒麟獅子舞の鑑賞体験を行い、香住の伝統文化について理解を深めさせる。</b></li> </ul> <p>○学校、家庭、地域、関係機関との連携と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校版教育環境会議やOS等を一層工夫して参加者の増加を図り、学校支援体制を充実させる。</li> <li>・学校HPやICT機器を活用し、学校と家庭、地域を結ぶ中で支援体制を強固にする。</li> <li>・<b>ICT環境を活用し、保護者連絡を電子化することで、確実な情報共有体制を構築する。</b></li> </ul> <p>○働きやすい職場環境づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日やノー部活デーの完全実施と、保護者、地域への周知を図る。</li> <li>・「いきいき運動部活動」を基本とした適正で充実した部活動を推進する。</li> <li>・教職員の勤務時間の適正化を図り、望ましいワークライフバランスの保持に努める。</li> </ul>